

2016年2月期

第2四半期 決算説明会資料

2015年10月21日

PAL GROUP

株式会社パル 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP

目次

財務報告 2

2016年2月期 第2四半期決算概況 3

2016年2月期 通期業績見通し 15

経営ビジョン 17

株主様への対応 27



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP

財務報告

2016年2月期 第2四半期決算概況
2016年2月期 通期業績見通し

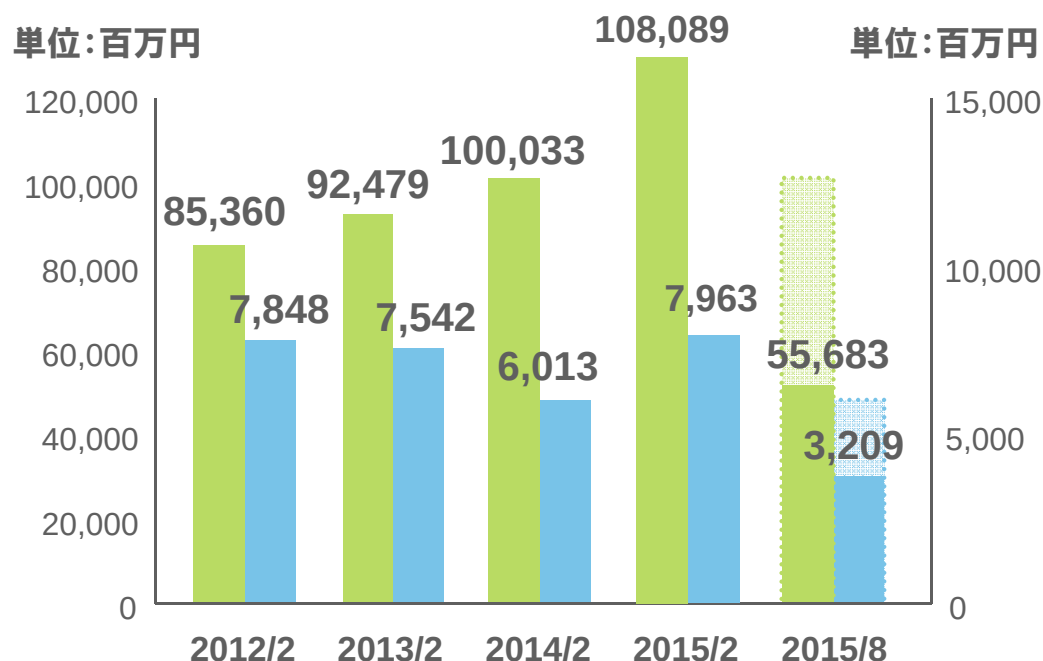


● 上期の振り返り

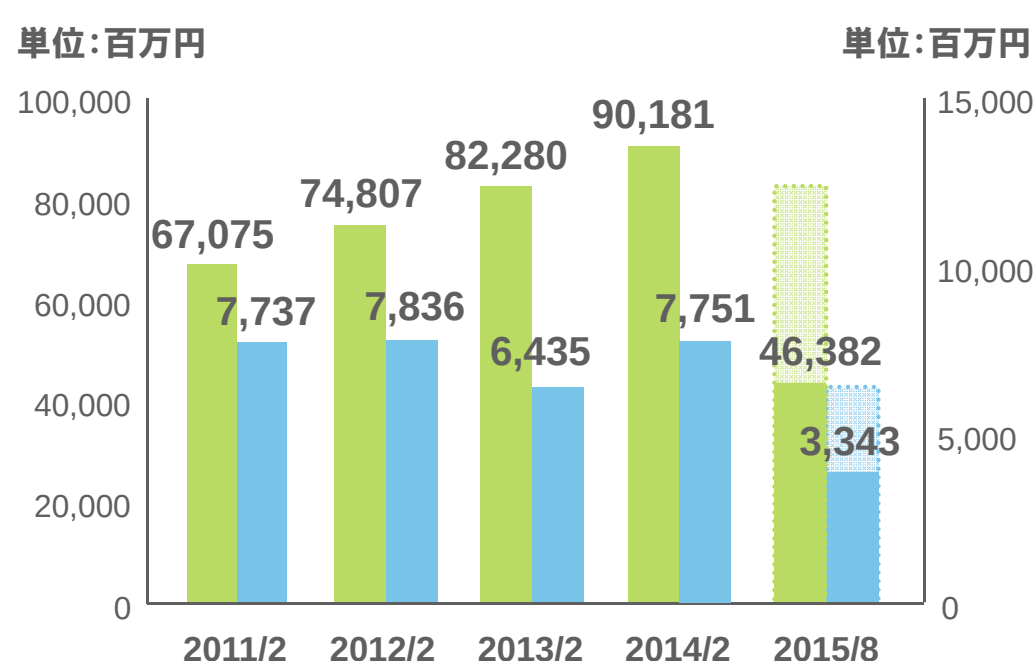
所得アップの実感のない消費者のマインドが、依然、小売業界には重くのし掛かっているが、当社はこの市場環境に挑戦すべく、過去最高の新規出店を実施した。

売上高は、連結・単体とも過去最高を記録したが、昨年対比で一層進んだ円安の影響や出店経費の増加等で、連結・単体ともに減益決算となった。

連結



単体



2016年2月期 第2四半期連結損益状況

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期 第2四半期	2016年2月期 第2四半期			
		公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	51,703	57,712	55,683	7.7%	△3.5%
売上総利益	29,574	32,738	31,173	5.4%	△4.8%
(売上比)	57.2%	56.7%	56.0%	—	—
営業利益	3,814	3,929	3,246	△14.9%	△17.4%
(売上比)	7.4%	6.8%	5.8%	—	—
経常利益	3,789	3,872	3,209	△15.3%	△15.3%
(売上比)	7.3%	6.7%	5.8%	—	—
当期純利益	2,033	2,859	1,893	△6.9%	△33.8%
(売上比)	3.9%	5.0%	3.4%	—	—

- 連結では、大型店2店を出店した(株)ジェネラルのマイナスが大きく影響したが、ナイスクラブや、英インターの大幅回復や一層の伸張がみられる。
- 当期純利益でのマイナスには、ナイスクラブの完全子会社化による負ののれん代8億円を見越していたが、最終の株価上昇を受け、5億円に留まったのが修正の主因。

2016年2月期 第2四半期単体損益状況

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期 第2四半期	2016年2月期 第2四半期			
		公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	43,380	48,200	46,382	6.9%	△3.8%
売上総利益	24,997	27,560	26,334	5.3%	△4.4%
(売上比)	57.6%	57.2%	56.8%	—	—
営業利益	3,918	4,090	3,364	△14.1%	△17.8%
(売上比)	9.0%	8.5%	7.3%	—	—
経常利益	3,912	4,070	3,343	△14.5%	△14.5%
(売上比)	9.0%	8.4%	7.2%	—	—
当期純利益	2,218	2,360	1,707	△23.0%	△23.0%
(売上比)	5.1%	4.9%	3.9%	—	—

- 昨年同時期と比べ20円近く進んだ円安の影響が、製造原価を押し上げたことや、昨年大きく値上げを断行した状況で、今期は現在までほとんど価格転嫁を行っていないなどから、減益となった。
- 全社で短サイクルMDへの移行により、前倒しでの在庫増はあるものの、管理の徹底が図られ、期末での大きな評価減には至らなくなっている。

セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期 第2四半期	2016年2月期 第2四半期	前年同期比
衣料			
売上高	40,138	42,119	4.9%
構成比	77.6%	75.6%	
営業利益	3,149	2,568	
営業利益率	7.8%	6.1%	
雑貨			
売上高	11,499	13,497	17.4%
構成比	22.2%	24.2	
営業利益	650	659	
営業利益率	5.7%	4.9%	
その他			
売上高	66	66	

	2015年2月期 第2四半期	2016年2月期 第2四半期	前年度比
EC売上高			
ZOZO TOWN	1,049	1,114	6.7%
自社PALCLOSET	526	540	3.0%
その他	655	864	32.7%
合計	2,230	2,518	12.9%
対衣料売上高比率	5.6%	6.0%	0.4%

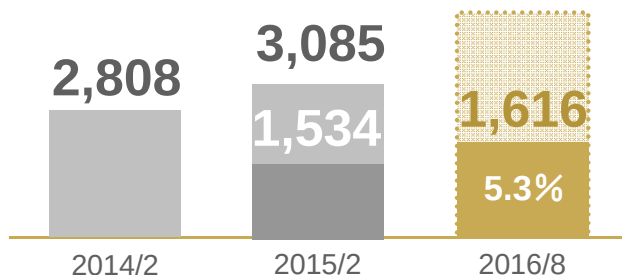
- EC売上げは、前年比12.9%と好調に推移している。

主なブランド

PAL GROUP

売上高

単位:百万円



BEARDSLEY

パリのアトリエという空間で、
Raffine(上品)、eternite(永遠)。。。などの15のキーワードをベースに、大人の遊び心を誘うアイテムを展開し、デイリーでありながらスノッブさを加えて女性の柔らかさと凛とした雰囲気提案

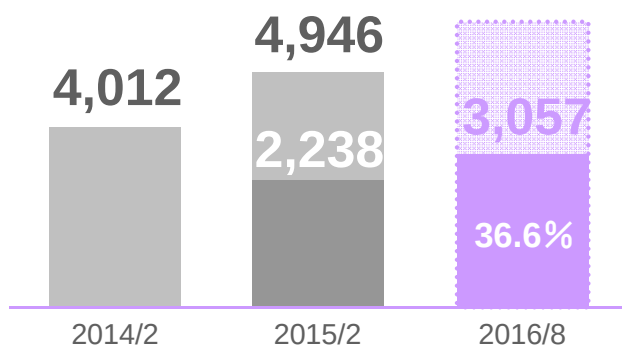
ビアズリー

店舗数 15店舗



売上高

単位:百万円



CIAOPANIC TYPY™

自然体のライフスタイルを大切にしたいファミリーへ少しこだわりとリラックス感を持ったスタイルを提案
素材と着心地にこだわったオリジナルラインに加え高感度なカジュアルアイテムを国内外よりセレクト
大人と同じテイストでのキッズウェアもラインアップ。

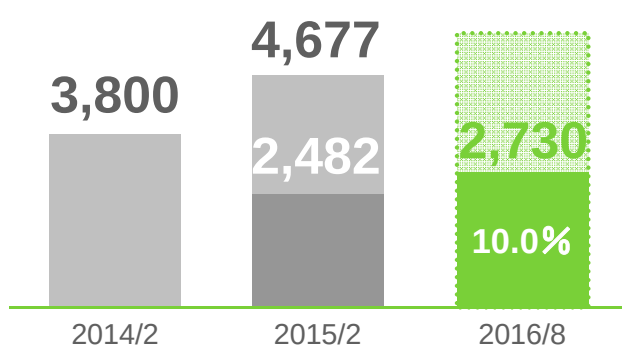
チャオパニックティピー

店舗数 44店舗



売上高

単位:百万円



Discoat

Discoatのアイテムを身にまとい、ライフスタイルに幸せな変化を感じて欲しい。
オシャレな女の子のライフスタイルに、ヨーロッパアンカジュアルを提案いたします

Discoat petit及び、Discoat Parisienを合算

ディスコート

店舗数 52店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP

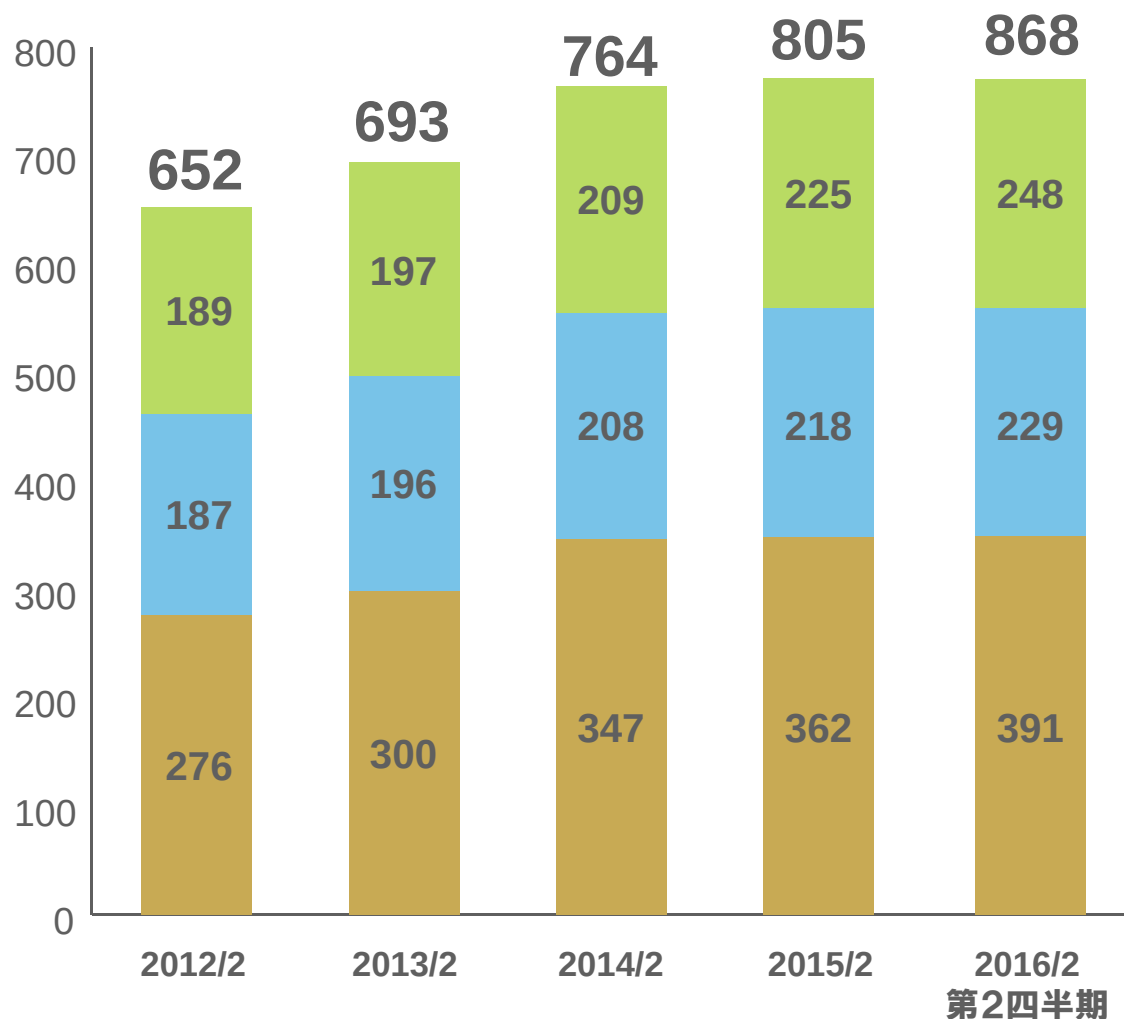
単位:百万円

	2015年2月期 第2四半期	2016年2月期 第2四半期	前年同期比
単体	21,079	22,970	109.0%
連結	25,760	27,927	108.4%
販管比率(連結ベース)	49.8%	50.2%	0.4%
人件費率	19.1%	18.7%	△0.4%
賃料費率	17.0%	17.0%	—
広告宣伝費率	0.9%	1.0%	0.1%

- 過去最高を見通すパルグループでの新規出店により、費用が先行し販管費を押し上げている。

期末店舗数868店舗 (前期比+35店)

■ その他地方
■ 関西圏
■ 関東圏



● 出店状況

新規出店が64店、退店が29店で、
前期比35店舗の純増となった
(別途、業態変更6店舗)

● 各ブランドの出店状況

衣料事業では、次のトレンドに向け好調なブランドを中心に新規出店を展開。
CIAOPANIC TYPYで6店舗、Discoatで3店舗、さらに、グループ会社のナイスクラブで5店舗、英インターで3店舗、ジェネラルで3店舗の出店を実施。

また、雑貨事業では、3coinsで12店舗など、合計20店舗を出店、依然ニーズは強い。

特別損益

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期 第2四半期	2016年2月期 第2四半期
関係会社株式売却益	0	
固定資産売却益	15	
負ののれん発生益	0	507
その他	0	
特別利益合計	15	507
固定資産除却損	43	190
リース契約解約損	0	
貸倒引当金繰入額	0	
減損損失	126	267
関係会社株式評価損	0	
投資有価証券評価損	0	
災害義捐金等	0	
災害による損失	0	
資産除去債務会計基準に伴う影響額	0	
その他	8	7
特別損失合計	177	464

連結貸借対照表

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期	2016年2月期 第2四半期	前期末比増減	備考
流動資産	57,981	51,396		
現金及び預金	43,503	35,675		
売掛金	5,603	5,888		
たな卸資産	7,707	8,662		
その他	1,168	1,171		
固定資産	24,041	24,775		
有形固定資産	9,211	9,771		
無形固定資産	201	246		
投資その他の資産	14,629	14,758		
資産合計	82,023	76,171		
流動負債	32,596	27,683		
固定負債	13,110	13,589		
負債合計	45,706	41,272		
純資産合計	36,316	34,899		
負債資本合計	82,023	76,171		

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期 第2四半期	2016年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,059	△3,921
投資活動によるキャッシュ・フロー	61	△945
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,030	△2,961
現金及び現金同等物の増加（減少）額	5,090	△7,828
現金及び現金同等物の期首残高	32,258	43,503
現金及び現金同等物の期末残高	37,349	35,675

- 新規出店や、新業態・新規ブランドへの積極投資の結果が、投資活動によるキャッシュ・フローに、反映されている。

2016年2月期 連結・単体通期業績の見通し

PAL GROUP

単位:百万円

1. 連結

	2015年2月期	2016年上期実績	2016年下期	2016年2月期	前期比
売上高	108,089	55,683	61,831	117,510	8.7%
売上総利益	60,944	31,173	35,022	66,195	8.6%
販売管理費	52,878	27,927	30,178	58,115	9.9%
営業利益	8,066	3,246	4,844	8,080	0.2%
経常利益	7,963	3,209	4,652	7,860	△1.3%
特別損益	650	465	490	955	46.9%
当期純利益	4,092	1,893	2,503	4,390	7.3%
粗利 56.4%			粗利 56.3%		

2. 単体

	2015年2月期	2016年上期実績	2016年下期	2016年2月期	前期比
売上高	90,181	46,382	51,200	97,580	8.2%
売上総利益	51,239	26,334	29,240	55,574	8.5%
販売管理費	43,400	22,970	24,530	48,000	10.6%
営業利益	7,839	3,364	4,710	8,074	3.0%
経常利益	7,751	3,343	4,530	7,870	1.5%
特別損益	521	363	450	813	56.0%
当期純利益	4,145	1,707	2,553	4,250	2.5%
粗利 56.8%			粗利 57.0%		

- 連結、単体の通期業績予想については、前期実績未達金額を修正へ

2016年2月期 通期業績見通しの前提

PAL GROUP

1. 店舗数の状況

()内、現時点の確定数

	2015年2月期	2016年8月末	2016年2月期 期末予想
新規店舗数	105	48	(52)
連結子会社での増加店舗数	16	16	(8)
退店店舗数	52	29	(25)
店舗数純増	69	35	(35)
会計年度末の店舗数	833	868	(903)

2. 既存店売上の状況（パルグループ各社の合計）

	2015年2月期	2016年2月期 上期累計実績	2016年2月期 下期累計見通し	2016年2月期
既存店売上推移	100.4	98.5	101.5	100.0

3. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比(第二四半期累計)	客数前年度比(第二四半期累計)
衣料事業	101.1%	96.6%
雑貨事業	99.4%	98.0%
全体	100.8%	97.7%

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP

経営ビジョン

業績推移

中長期ビジョンの実践

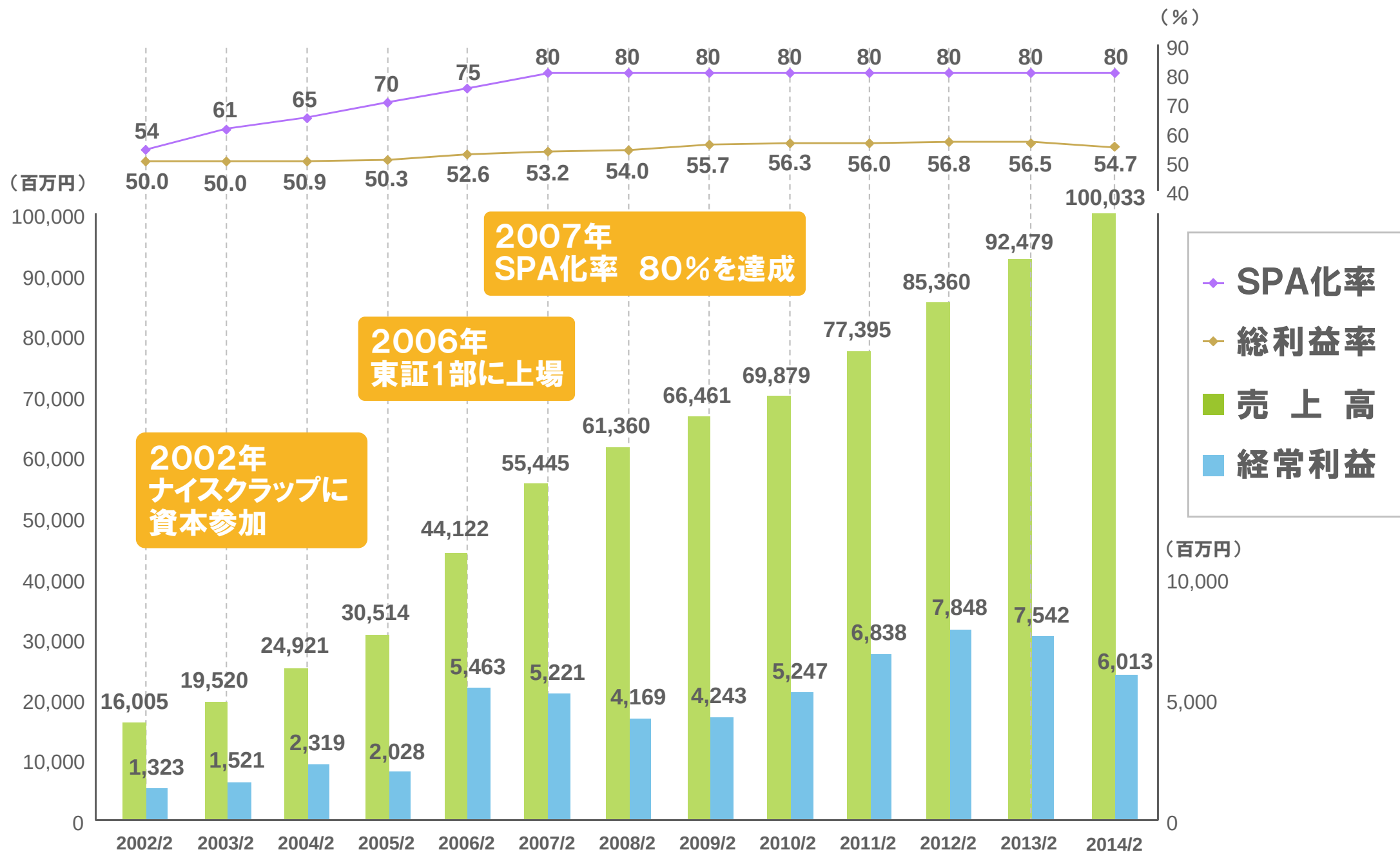
1. MD改革の進捗状況

2. 『パル流』経営の浸透

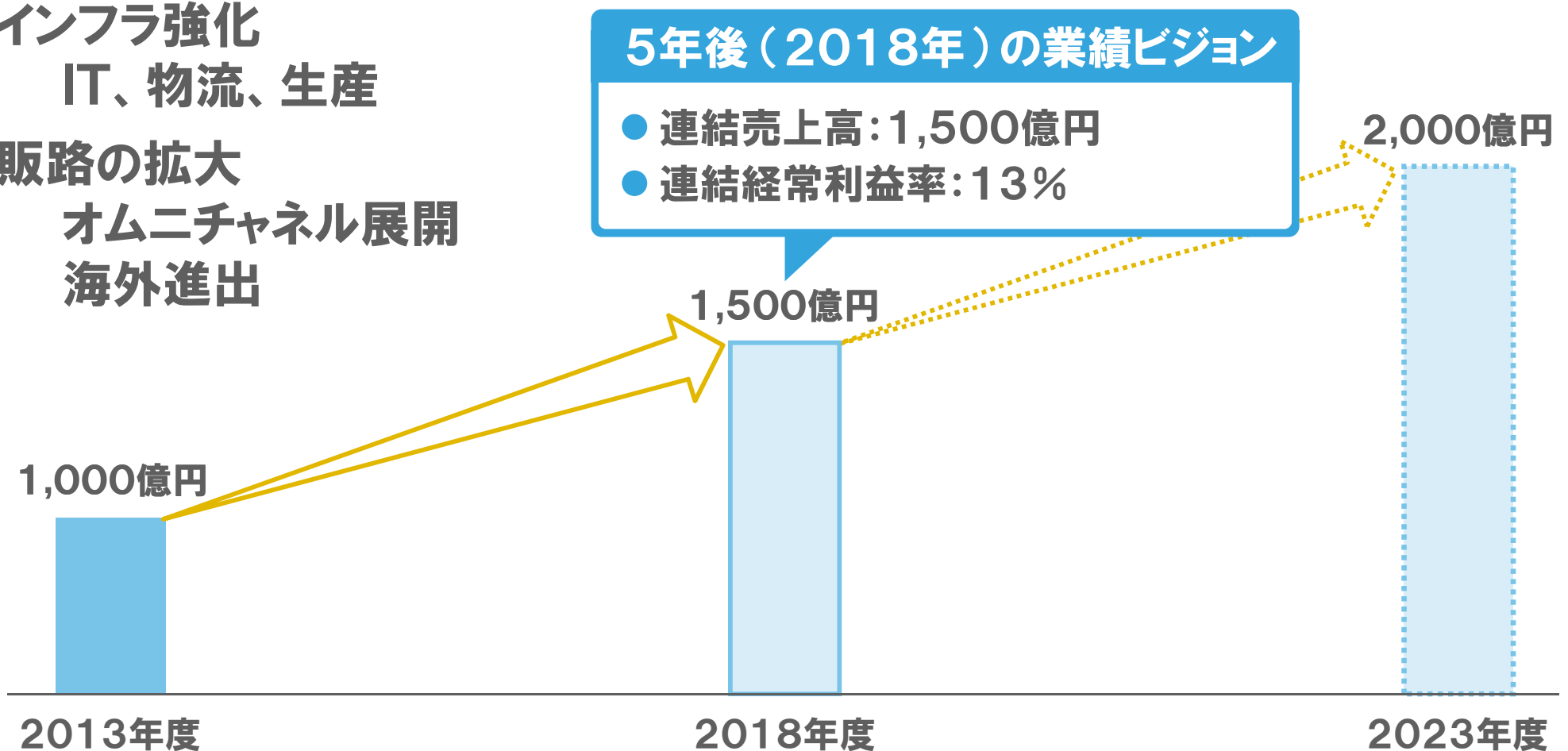
ー ナイスクラブの推移

3. 新業態、新ブランドへの挑戦



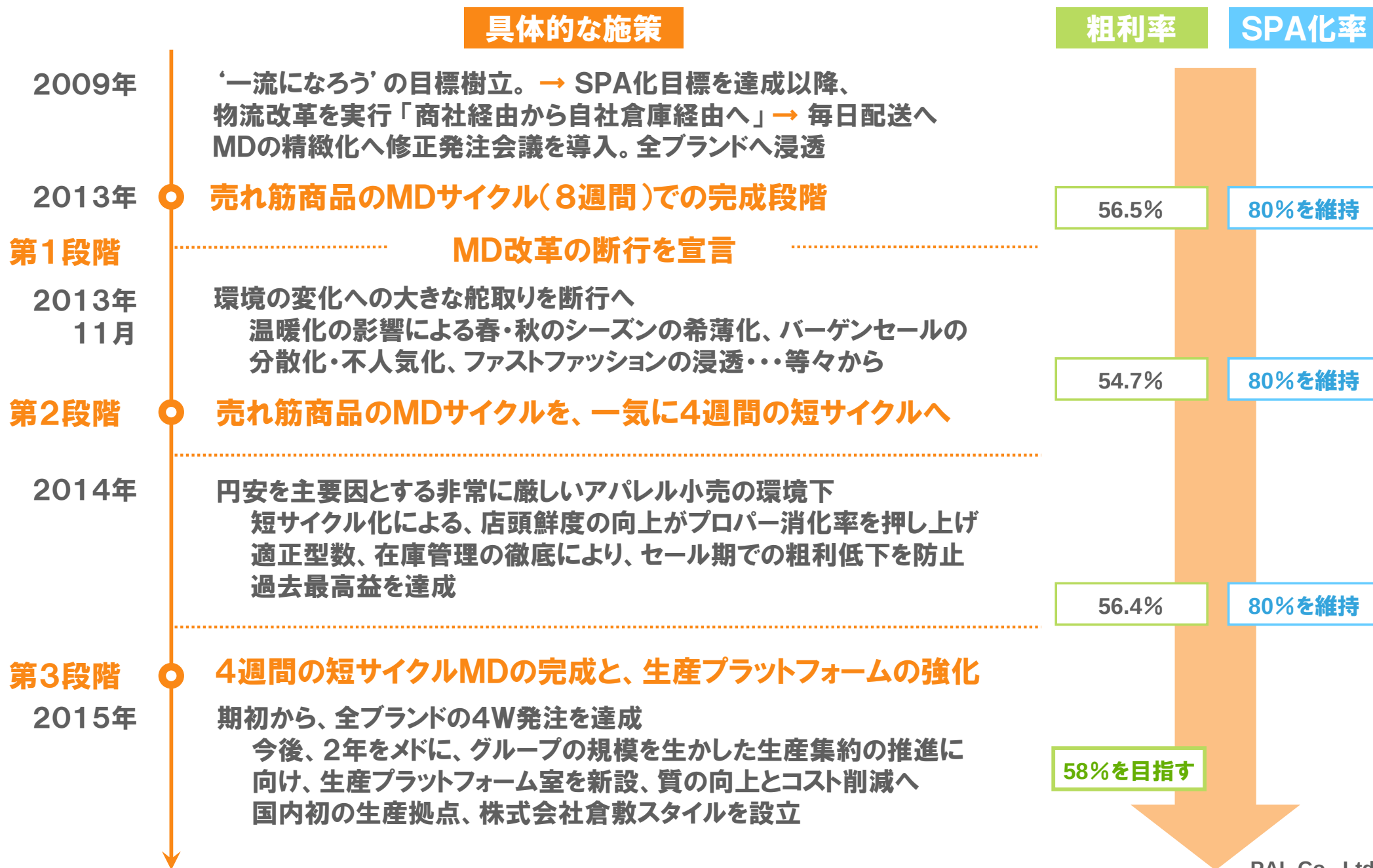


- 事業戦略
 - 1. MDの大改革の実行(短サイクル化への移行)
 - 2. 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透
 - 3. 新業態、新規ブランドへの挑戦(社内外提案、M & A)
 - インフラ強化
IT、物流、生産
 - 販路の拡大
オムニチャネル展開
海外進出



1. MD改革の進捗状況

PAL GROUP



1ー①生産プラットフォームの強化

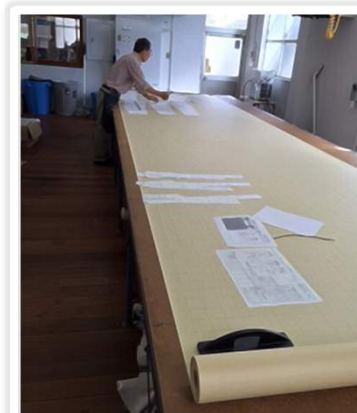
PAL GROUP

株式会社倉敷スタイルの設立

MD改革の一環として推進している生産プラットフォームの強化に関連し、今般グループ内での「ボトム」の製造集約化を中心とした、垂直での生産拠点を初めて国内に設立しました。

株式会社倉敷スタイルの概要

商 号	株式会社倉敷スタイル
代 表 者	井上 英隆
所 在 地	岡山県倉敷市玉島734
設 立 年 月 日	平成27年5月25日
資 本 金	9百万円(6)決算期：2月



ナイスクラブ完全子会社後の対応

6月1日に完全子会社化した(株)ナイスクラブについては、資本金等を会計上1億円に減少させることで、税務負担での軽減も図れることから平成27年10月13日の取締役決議より、平成28年1月15日を効力発生日として有償による減資を実施することを決議いたしました。

上場廃止による関連費用の削減、及び資本金等を1億円に減資することによる税負担軽減

- ① 外形標準課税・・・・・・・・17,415千円(平成27年1月期)
- ② 法人住民税均等割り・・・・34,251千円(平成27年との差)

この税負担減少の見込み＋上場関連費用の削減見込み合計額:89,300千円

取締役会決議(パル)／(株)パル取締役会に資料提出(ナイスクラブ)	平成27年10月13日
電子公告及び官報公告申込み(ナイスクラブ)	平成27年11月18日
取締役会開催／有償減資の件／臨時株主総会決議案発送(ナイスクラブ)	平成27年11月20日
臨時株主総会(書面)決議／定款の一部変更／資本金等の額の減少／剰余金処分(ナイスクラブ)	平成27年11月25日
電子公告及び官報公告掲載(ナイスクラブ)	平成27年11月26日
公告期間満了(ナイスクラブ)	平成27年12月29日
配当金受領(税引後:553,843,867円)(パル)／効力発生日、配当金振込(ナイスクラブ)	平成28年 1月15日
減資及び定款変更登記へ(ナイスクラブ)	平成28年 1月18日
源泉税納付(ナイスクラブ)	平成28年 2月10日



COLONY 2139

■ 「COLONY 2139」について

「COLONY2139」は、衣料品を含めた日用品を取り揃えるジェネラルストアです。
ベーシックプロダクトにデザインを加え、モダンに進化させた”ニューベーシック”がコンセプト。
THE GENERAL INC と米国 TOWNES 社（タウンズ社）とのパートナーシップにより、クリエイティブ
レベルを統一させ、商品にアウトプットし、ブランドアイデンティティを表現します。

URL:

US SITE : <http://colony2139.com/>

FACEBOOK : <https://www.facebook.com/colony2139>

Tumblr : <http://colony2139.tumblr.com/>

3-①新業態、新規ブランドへの挑戦

PAL GROUP



カテゴリー

MENS&LADYS APPAREL (BASIC、TREND)

ACC (BASIC、TREND)

LIFE GOODS (BASIC、IMPORT)

INTERIOR (BASIC)

SPORT APPAREL (BASIC)



3-②新業態、新規ブランドへの挑戦

PAL GROUP

熊谷隆志がディレクションする、大人のためのCRAFT & CULTUREショップ 『CPCM』の誕生



11月オープンの原宿旗艦店のイメージ図

株式会社パル(本社:大阪市中区北浜3-5-29
代表取締役社長:井上隆太)より、大人のための
CRAFT & CULTUREショップ「CPCM」(シー・
ピー・シー・エム)が誕生する。アメリカを中心とするク
ラフト作家(手工芸でものづくりをする作家・アーティ
スト)の雑貨、家具、メンズアパレル、レディースアパ
レルなど、上質かつ温もりのあるスタイルを提案する。
店内には新しい食を提案するFOOD & DRINK
STANDも併設される。店舗の名前は「Crafts
and Permaculture Country Mall」の略称で、
手作りの温もりのあるクラフトや新旧に関わらず永続
的に続く文化を大切にしたいショッピングモールを意図
している。

3-③新業態、新規ブランドへの挑戦

PAL GROUP

レディース向けのファッションブランド「BannerBarrett」や、「BULSARA」、「AMIW」などを展開する、株式会社マーキュリーデザイン（企画・製造・卸）及び株式会社メイウッド（専門店販売）の株式を一部譲渡受けすることで、両社の株主であり代表取締役である廣瀬貴士氏と合意致しました。

今後は、パルグループの魅力あるブランドとして、一層展開を強化していきます。



株式会社マーキュリーデザインの概要

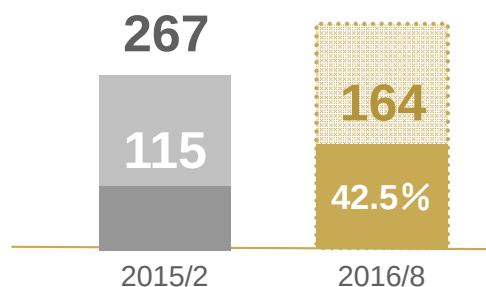
商 号	株式会社マーキュリーデザイン
代 表 者	代表取締役 廣瀬 貴士
所 在 地	東京都渋谷区猿楽町14番13号
設 立 年 月 日	平成13年11月1日
資 本 金	79百万円
売 上 高	約20億円(平成27年2月期、グループ合算)
主 要 ブ ラ ン ド	「BannerBarrett」、「BULSARA」、「AMIW」、「Nook」

3-④新業態、新規ブランドへの挑戦

PAL GROUP

売上高

単位:百万円



Drawing Numbers

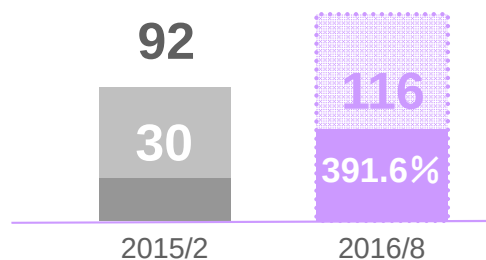
『ハイスไตล์』をコンセプトに、世界中から
ヒト・コト・モノが集まるショッブ
メンズ・ウィメンズとも上質な素材にこだわり、
上品で知的な雰囲気ワードローブを提案
ギフトスペース、ミニギャラリーも展開し、
南青山店では、カフェも併設しています

ドロイングナンバーズ 店舗数 2店舗



売上高

単位:百万円



PalinkA

PalinkA...『Opal』×『A new self』
虹のように多彩な色を含む宝石『Opal』
ひとつとして同じ色や形を持たず、
唯一無二の煌きを放つ
個性を輝かせ、新しい自分の魅力に
出会えるクローゼットです

パリンカ 店舗数 3店舗



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP

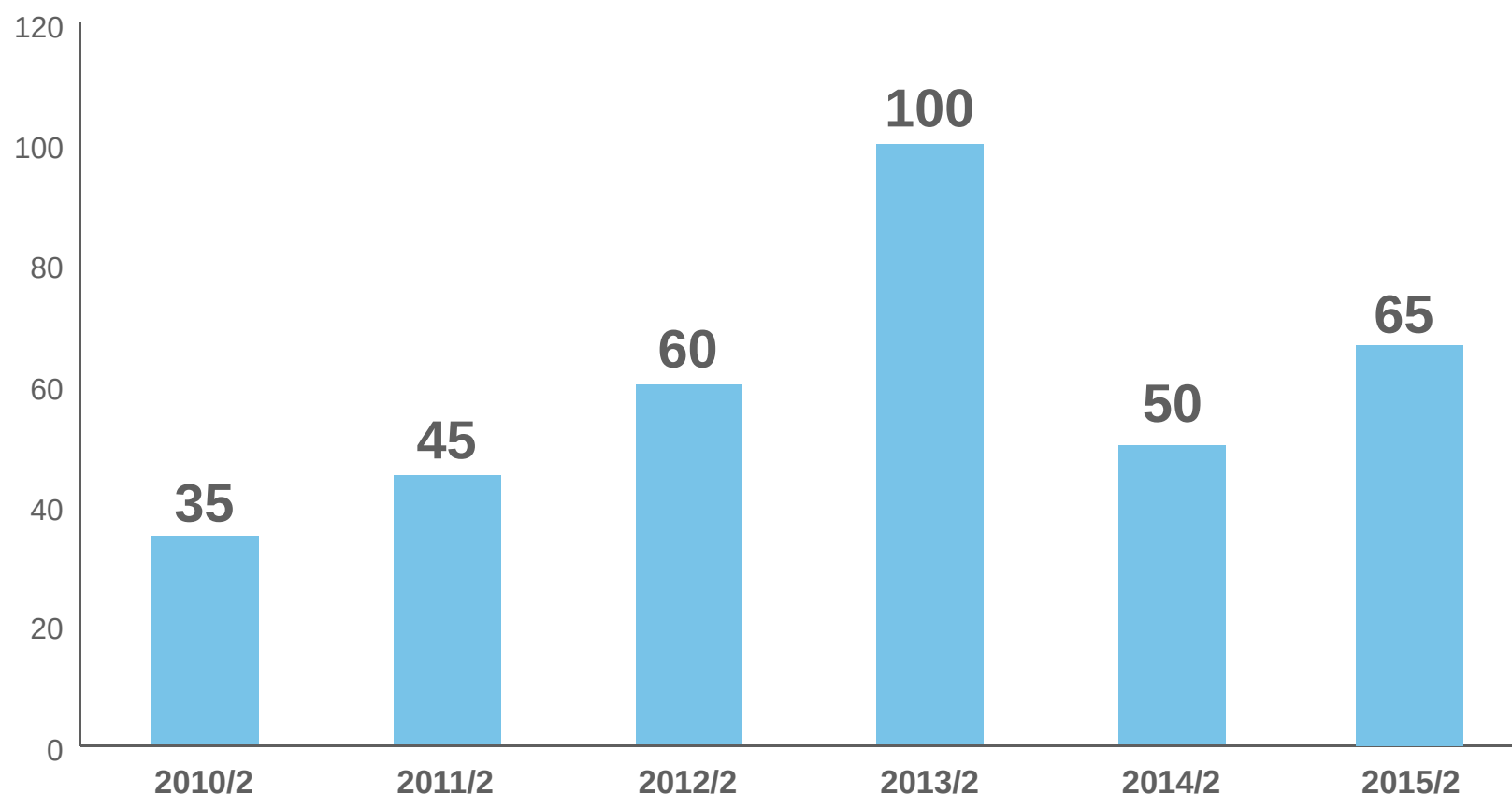
株主様への対応

株主還元(配当について)
株主優待制度について
CSRへの取り組み



1. 株主還元策

- 業績に見合った利益還元を基本方針とする
- 前期末の1株当たりの配当は、65円に増加へ



2013年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済みに付き、2014年2月期、および、2015年2月期予想1株当たり配当は50円となっています。

2. 株主優待制度の新規導入

『パルグループ全体の販売を促進する内容』で、導入を決定

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を導入いたしました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単位）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の3つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引

● 優待券の付与枚数

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



開始時期

新規の制度導入となる本年のみ、平成27年2月28日現在の当社株主名簿に記載または記録された100株（1単位）以上の株式を保有されている株主様を対象といたします。
なお、今回の利用期間は、平成27年6月1日から平成28年5月31日までとします。

3. 当社のCSRへの取り組みについて

PAL GROUP

当社の経営理念は、『社員と株主みんなの幸せのための経営』

当社にとってのCSR（Corporate Social Responsibility＝企業の社会的責任）とは、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の存在意義に関わることを超えて、企業として『少しでも世の為、人の為になっているか』という社会貢献、地域貢献に関わることを考えています。



3. 当社のCSRへの取り組みについて

(1) 『障がい者の運営する』 全国初のホテル、旅館を全面支援

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ www.hamayu-kuroshio.com

3. 当社のCSRへの取り組みについて

(2) 『大阪大学大学院経済学研究科にパル寄附講座を開設』

当社は、一昨年10月に創立40周年を迎えましたが、その記念行事の一環として、また地域貢献の一助として、大阪大学大学院経済学研究科に、パル寄附講座を開設することになりました。

「イノベーション・マネジメント」寄附講座という名称で、同大学の学生が、専門性の追求のみならず、実社会の最前線で活躍される講師の方々から、ドキドキするような講話を聴く機会を得ることで、実学の基礎を学べるように配慮し、今後の社会をリード出来る人材育成に向けた交流を進めていく方針です。



講義写真(会長)



講義写真(社長)



講義ポスター

3. 当社のCSRへの取り組みについて

PAL GROUP

(3) 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成

当社は一昨年9月に、社会貢献の一環として、創業一族である井上ファミリーと共に、『一般財団法人パル井上財団』を設立し、昨年の4月より、公益財団として内閣府より認可を受けました。

将来、ファッション産業や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物共に優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

全国の総合大学及び、服飾系の大学・専門学校の学生及び留学生の計43名に、奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ



パル財団とは

3. 当社のCSRへの取り組みについて

(4) 『世界文化遺産、吉野の山の森林保全と育成事業の参画』

当社は、2011年3月より、包装事業で共同するザ・パック株式会社及び、NPO法人 地球と未来の環境基金との協同により、奈良県吉野町上市にある山林で、植林や、間伐での事業に取り組んでいます。

この地域は、世界遺産の熊野古道の一部でもあり、また豊かな自然とが見事に調和した日本を代表するエリアのひとつです。



社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名 株式会社 パル

所 在 地 【本社所在地】 大阪府大阪市中央区北浜3-5-29 日生淀屋橋ビル4F
【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F

代 表 者 井上 隆太

資 本 金 31億8,120万円

設 立 1973年10月

事業内容 婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売

従業員数 1,845名(グループ合計2,422名) (2015年2月末現在)

店 舗 数 868店舗 (2015年8月末現在)

経営企画室

TEL 06-6227-0308
FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。
また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。